

令和3年度特定外来生物等対応状況

生物多様性センター

生物多様性センターでは第2次生物多様性えひめ戦略に基づき、外来生物対策の推進を図っており、外来種に係る情報収集と対応を業務の一環として実施していることから、令和3年度の対応状況と今後の対応について特定外来生物を中心に報告する。

哺乳類・鳥類3件、爬虫・両棲類4件、魚類2件、昆虫・クモ類16件、植物2件の情報提供があり対応を行った。ヒアリ類は写真または個体持ち込みによる判別を行った。外来カメに関しては写真による判別が中心であったが、今治市のカミツキガメに関しては平成30年度以降、継続的な捕獲調査を実施している。東予地域を中心にセアカゴケグモの報告件数があった。

1 アライグマ

令和3年度は確認されなかった。平成30年度にアライグマの生息が確認された松山市と松前町において痕跡調査を継続しているが、アライグマの特徴を有する痕跡は確認されていない。

2 ゴケグモ類(セアカゴケグモ・ハイロゴケグモ)

ハイロゴケグモは確認されなかった。セアカゴケグモは新居浜市と愛媛県が合同で確認初期段階における対応(捕殺およびモニタリング調査)を実施し、1回/月の頻度でモニタリング調査を令和元年8月から継続している。

本年度は11回の調査で82頭のセアカゴケグモを駆除した。またモニタリング地点に隣接した工場敷地内で複数のセアカゴケグモが確認され、初動対応を行った。松山市においても市と合同で周辺調査および1回/月のモニタリング調査を令和元年度から継続している。11月に今治市市営球場でセアカゴケグモ成体と卵嚢が複数確認され

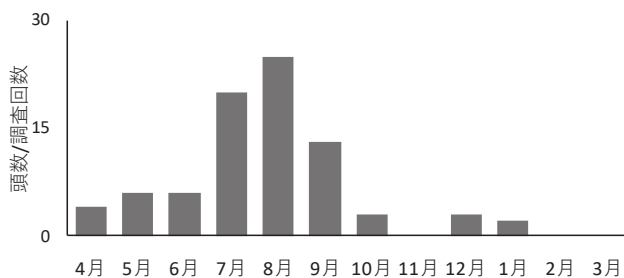


図 新居浜市セアカゴケグモ確認状況(令和3年度)

たことを受けて、同施設の点検を行うと同時に、今治市が中心となって今治市内の全公共施設での確認作業を実施し、今治駅駐輪場で1頭のメスが確認されたが、その他の施設からは確認されていない。

3 ヒアリ類(ヒアリ・アカカミアリ)

令和2年7月に松山市と新居浜市の港湾およびコンテナ内部で計6,000頭のアカカミアリが確認されたことを受けて、新居浜市の港湾を対象に2回/年の頻度でベイトトラップによるモニタリング調査を市と共同で継続している。令和3年度は6月21日と11月17日の2回のモニタリング調査を実施し、確認されたアリ類はオオズアリ属:743頭、シワアリ属:340頭、ルリアリ属:2頭であり、ヒアリ、アカカミアリは確認されていない。その他海外航路を有する港湾(松山、今治、川之江)は、環境省委託によるモニタリング調査が継続されている。本種の主な侵入ルートは海外航路のコンテナであり、愛媛県でも侵入の可能性は常に存在していることから、今後も警戒を続けていく必要がある。

4 外来カメ類

カミツキガメは今治市伯方町で平成30年6月から今治市と共同で捕獲調査を実施している。

表 カミツキガメ捕獲調査実績(令和3年度)

調査項目	方法	設置数	捕獲頭数
5月25日	その他	-	1
6月11日	カゴわな	18	4
7月9日	カゴわな	20	2
7月30日	カゴわな	20	7
8月20日	カゴわな	20	1
8月27日	カゴわな	20	1
9月17日	カゴわな	20	0
	その他	-	1
10月8日	カゴわな	20	0

令和3年度の捕獲調査では17頭のカミツキガメが捕獲されたが、若齢(背甲長17cm以下の個体)の捕獲割合が増加し、全体の76%を占めた。

5 魚類

令和3年度は松山市内の河川でガー科魚類の目撃情報があったが、捕獲はされていない。令和2年以降、観賞用魚類が野外で確認される事例が例年と比較して多く、情報収集と普及啓発を図っていく。